

令和3年度 受賞校一覧

大学等名	科目名	取組概要
大阪夕陽丘学園短期大学 最優秀賞	企業実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ	目的：長期の就業体験及び事前・事後の学修を通して、他者と協力して、問題解決しようとする姿勢を持ち、自分の人生を自分で切り開いていく環境適応力を身につける。 対象：キャリア創造学科、産学連携キャリア創造コース 1年 必修 概要：連携協定を交わした複数企業における総計86日におけるインターンシップをコアにした学内の学修と企業実習の融合したコーオプ教育による長期プログラム
就実大学 優秀賞	長期インターンシップ	目的：①学部教育の早い段階で社会・企業の実態に触れ、②経営学の専門知識を学習するだけでなく実践できるようにし、③主体性を持って経営学的課題に学生自ら取り組むことで、④自らの考えを表現する能力を身につける 対象：経営学部 2年、必修 概要：学部教育の早い段階(2年次)での地域(岡山県下)に根ざした約50社に及ぶ企業等の経営学的課題の解決に学生自ら取組む長期間(50日間)のプログラム
徳山大学* 優秀賞	アーリー・エクスプージャー型インターンシップ	目的：周南圏域企業等への早期就業体験による地域理解の促進、キャリア意識形成、域内就職への意識醸成 対象：経済学部、福祉情報学部 1年 必修 概要：大学の「地域共創センター」と地元企業等との組織体である「周南創生コンソーシアム」が協働してプログラムを運営し、周南圏域(周南市、下松市、光市)の人口減少、特に若者の減少という地域課題を解決する為、学生の地元就職率の向上を目的にしたプログラム
石川工業高等専門学校 優秀賞	インターンシップ	目的：実践的な体験をととして地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる 対象：専攻科1年、必修 概要：技術振興交流会会員企業(約250社)の受入支援体制のもと、地元人材育成サイクルに貢献する持続可能な教育プログラム

インターンシップの概要

目的：長期の就業体験及び事前・事後の学修を通して、他者と協力して、問題解決しようとする姿勢を持ち、自分の人生を自分で切り開いていく環境適応力を身につける。

対象：キャリア創造学科、産学連携キャリア創造コース 1年 必修 参加学生：11名 企業における就業体験日数：86日

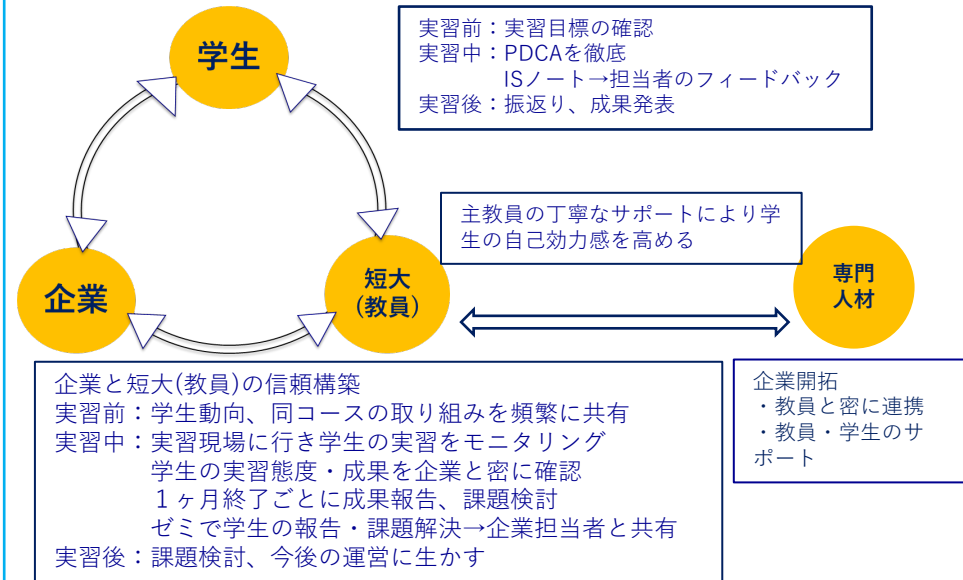
受入企業：(株)アクトワンマイチ、(株)近鉄百貨店、スイスホテル南海大阪、司法書士事務所ともえみ、ナカザワ建販(株)、(株)オンワード樫山、セントラルフルーツ、(株)アルゴセキュリティ、(株)エムズプランニング 計9社

概要：連携協定を交わした複数企業における総計86日におけるインターンシップをコアにした学内の学修と企業実習の融合したコーオプ教育による長期プログラム

評価のポイント

- 大学が掲げる教育目的が、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」と連動しており、正規の教育課程の中で位置づけられおり、1年後期（1人3社3ヶ月間、1社あたり1ヶ月間、週3日の無給インターンシップ、実習日数36日）、2年前期、1社に絞り3ヶ月間、週4日の有給インターンシップ、実習日数50日）の2年間でトータル86日という長期間にわたり、充実した就業体験ができ、コロナ禍においてもPCR検査を活用するなど工夫をしているなど体系的なプログラムとなっている。
- 長期及び有給インターンシップがインターンシップ運営について互いの狙いがすり合う目的の設定を行うことで、“一緒に学生を育てている”マインド形成を図っていることや学内に企業等の関係者との情報・意見交換ができる「コーオプ教育研究所」を設置し、企業との関係を推進しており、大学等と企業等が協働した取組となっている。
- 「教学マネジメント指針」などを踏まえ、学長のリーダーシップの下、キャリア創造学科の新しいコース「産学連携キャリア創造コース」を設置していることやインターンシップ専門人材を配置するなど大学等の組織的な取組として位置づけられている。

目指す学生像：社会で生き抜く力を育む。知識と経験の融合と他者と積極的に関わる力をつける。他者と協力して、問題解決しようとする姿勢を持ち、自分の人生を自分で切り開いていく環境適応力を身につける



問合せ先

大阪夕陽丘学園短期大学キャリア創造学科
産学連携キャリア創造コース 准教授 神殿織江
Tel:06-6771-5183 Mail:o.kodono@oyg.ac.jp

就実大学『長期インターンシップ』

インターンシップの概要

目的：①学部教育の早い段階で社会・企業の実態に触れ、②経営学の専門知識を学習するだけでなく実践できるようにし、③主体性を持って経営学的課題に学生自ら取り組むことで、④自らの考えを表現する能力を身につける

対象：経営学部 2年、必修 参加学生：77名 企業における就業体験日数：50日

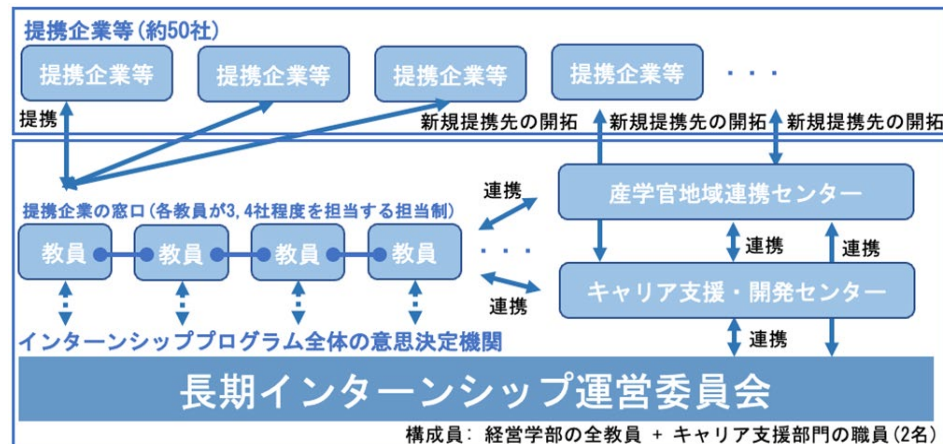
受入企業等：岡山市中区役所、菅公学生服グループカンコーマナボネクト(株)、(株)グロップ、(株)ストライプインターナショナル、(株)中国銀行、中国電力(株)、(株)トミヤコーポレーション、両備ホールディングス(株) 他52社

概要：学部教育の早い段階(2年次)での地域(岡山県下)に根ざした約50社に及ぶ企業等の経営学的課題の解決に学生自ら取り組む長期間(50日間)のプログラム

評価のポイント

- 企業等での就業体験実施日数は50日(約15週間)、8単位の必修科目であり、学生は、自身の能力・資質・興味関心に合わせ、岡山県下約50社の企業等が提供するプログラムから自ら参加する実習を選択し、77名が参加しているなど一定の規模がある。
- インターンシッププログラムには企画・立案・運営・評価について経営学部の全教員が参加しており、長期インターンシップ運営委員会において月1回定期的に開催し、インターンシップの実施体制・実施状況の組織的なモニタリングを行うなど、大学等の組織的な取組として位置づけられている。
- 教育的効果の把握をループリックを活用しながら、定量的、定性的に評価を実施していることや実習の教育的効果の質を一定に担保するために企業等側から学生の実習に対する姿勢・意欲をアンケートによって定量的・質的に評価してもらい翌年度の改善に生かすなど教育的効果を把握する仕組みがとられている。

インターンシップの運営体制



問合せ先

就実大学・就実短期大学 キャリア支援・開発課
 Tel: 086-271-8132
 Mail: internship@shujitsu.ac.jp

徳山大学『アーリー・エクスポージャー型インターンシップ』

インターンシップの概要

目的：周南圏域企業等への早期就業体験による地域理解の促進、キャリア意識形成、域内就職への意識醸成

対象：経済学部、福祉情報学部 1年 必修 参加学生：64名 企業における就業体験日数：5日

受入企業：西京銀行,(株)ホテルサンルート徳山,トクヤマ海陸運送(株),(株)シティーケーブル周南,(株)KRYサービスステーション,周南システム産業(株),徳山興産(株),周南市立徳山駅前図書館,他24社,合計32社

概要：大学の「地域共創センター」と地元企業等との組織体である「周南創生コンソーシアム」が協働してプログラムを運営し、周南圏域（周南市、下松市、光市）の人口減少、特に若者の減少という地域課題を解決する為、学生の地元就職率の向上を目的としたプログラム

評価のポイント

- 早期の就業観育成のために1年生を対象にした必修科目であり、受入企業等32社は全て周南圏域の地元企業等で業種も広範囲となっており、次年度のインターンシップへつなげるなど、地域共創型インターンシップとして正規の教育課程に位置づけられている。
- 大学内でインターンシップ必修化プロジェクトを立ち上げ、教員4名、職員10名の計14名で運営していることや企画、授業内容の全員への理解、企業へのアプローチについての研修、事務運営についての研修などのSD・FD研修を複数回実施するなど、大学等の組織的な取組として位置づけられている。
- 「周南創生コンソーシアム」等の受け入れ企業32社と連携し、大学の教育目標と育成する人材像を共有したプログラムであること、また、令和4年度から在学中に2週間以上のインターンシップに参加することを卒業要件にし、令和5年度にはクォーター制を導入する計画であることなど、地方創生に向けた大学と企業が協働した取組となっている。

インターンシップ協力体制

大学と企業等との協働による地方創生の推進

徳山大学

- ・地域人材の育成
- ・地方創生への貢献
- ・「地域に輝く大学」の実現



企業・自治体等

- ・就業希望の促進
- ・企業等の理解促進・魅力発信
- ・地域人材育成への協力



問合せ先

徳山大学（R4年4月1日より周南公立大学）
 地域共創センター キャリアデザイン部門
 Tel:0834-28-5393 Mail:tu.carrier@tokuyama-u.ac.jp
 （R4/1より tu.carrier@shunan-u.ac.jp）

石川工業高等専門学校『インターンシップ』

インターンシップの概要

目的：実践的な体験をととして地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる

対象：専攻科1年、必修 参加学生：22名 企業における就業体験日数：56日

受入企業等：【電子機械工学専攻】(株)トランテックス、(株)グランゼーラ・ゲームスタジオ、東京ドロウイング(株)、EIZO(株)、(株)小松製作所、津田駒工業(株)、創屋(株)、アール・ビー・コントロールズ(株)、ホクショー(株)、(株)アイ・オー・データ機器、(株)金沢エンジニアリングシステムズ、シグマ光機(株)、クレスコ北陸(株)、澁谷工業(株)、(株)金沢村田製作所

【環境建設工学専攻】津幡町教育委員会、国土交通省北陸地方整備局、(株)N T Tファシリティーズ北陸支店、(株)東洋設計、(株)丸西組、(株)継手意匠店、(株)日本海コンサルタント、石川県土木部 計23企業等

概要：技術振興交流会会員企業（約250社）の受入支援体制のもと、地元人材育成サイクルに貢献する持続可能な教育プログラム

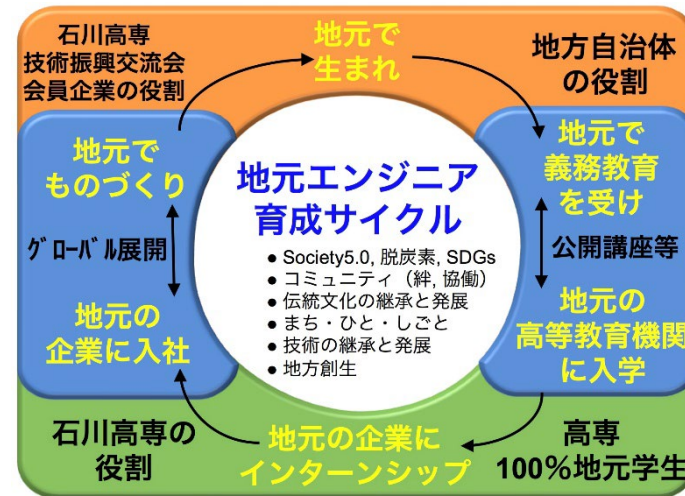
評価のポイント

○ 3か月間の実習期間及び事前指導Ⅰ、事前指導Ⅱ、事後指導を組み入れた10単位の必修科目であり、コロナ禍において、オンライン実習と実地実習の融合やインターンシップ報告会においてハイブリッド方式を確立するなど実施体制を強化している。

○ 教育点検改善システムにおいて、プロセスに応じた組織がその役割を担う複数担当制となっているとともに、企業との協働を専門的にサポートする人材として地域連携コーディネータ2名が配置されるなど大学等の組織的な取組として位置づけられている。

○ 独自の「技術振興交流会会員企業」等との意見交換や交流の機会が定期的にあることやインターンシップ後、学生がどのように成長したかをインターンシップ受入企業担当者も確認できる仕組みがあることなど大学等と企業等が協働した地域における人材育成の取組となっている。

地域連携による実践的なグローバル人材育成 - 地元人材育成サイクル -



就職者のうち
40%以上が
インターンシ
ップ先へ

問合せ先

石川工業高等専門学校学生課教務係
Tel:076-288-8031 Mail:kyomu@ishikawa-nct.ac.jp